

これからの建設業に関心を持ってもらうために

2016 “地域インフラ”
関東 サポートプラン

IT関係の専門学校の女子生徒に技術者の日常業務を体験してもらいました。

工事名：H28栗橋北堤防強化（下）工事
発注者：利根川上流河川事務所
請負者：真下建設株式会社
開催日：平成29年2月28日（火）
参加者：アルスコンピュータ専門学校女子学生11名
うちCAD選択者3名 引率者（先生）1

○内容

「午前」

- ・3Dスキャナー測量：データ取得
- ・GNSSを用いた締固め管理：データ取得
- ・3Dデータ処理：現況測量から設計データ作成
- ・GNSS締固め管理：提出データの作成

「午後」

- ・CAD図面：発注図より書類作成の流れ
- ・デジカメ写真管理：ソフトによる写真整理
- ・ASP斜類作成：書類作成からASP登録の流れ
- ・建設機械の試乗



集合写真



事務所内にてパソコンによる体験風景



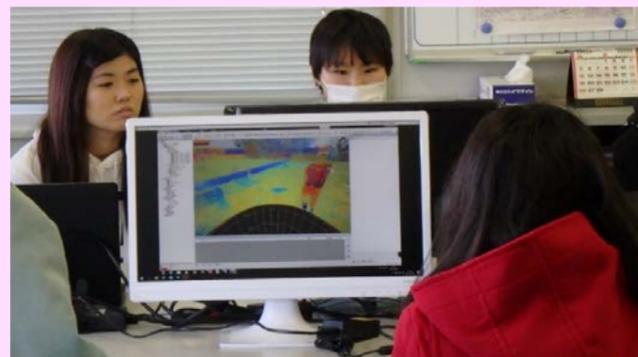
3Dレーザースキャナー測量



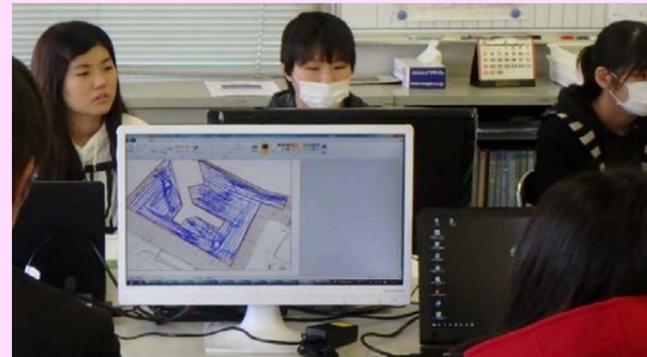
GNSSを用いた締固め管理



建設機械試乗体験 MCブルドーザー



3Dデータ処理



提出データの作成



建設機械試乗体験 MCブルドーザー・MCバックホウ

○監理技術者から一言

現在、国土交通省では「もっと女性が活躍できる建設業」を推進しています。土木の専門知識を持った女子学生に入社を促すことも必要ですが、今回は視点を変えて IT関係の専門学校生（女子）を対象に建設業に触れる機会を提供しました。「建設業が何をしているかわからない」という女子学生達でしたが、職場体験後に実施したアンケート結果から少しでも建設業に関心を持っていただけたようです。PC操作の時間を終えた後に行った「建設機械の試乗体験」で見られたたくさんの笑顔から「もっと女性が活躍できる建設業」のスタートラインが垣間見られたような気がします。そして、今回参加した女子学生11名のうちの1名でも IT関係の仕事として建設会社へ入社し、ゆくゆくは女性技術者（どぼじょ）に育ってもらうことを願っています。

2017年は、利根川決壊
カスリーン台風から70年